

5-4 令和4年度公民館の概要・事業報告

中央公民館

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

- 1 各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の整備充実、有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

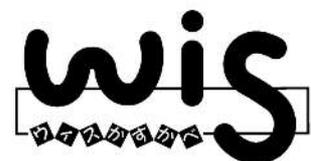
◇重点事業

- 1 文化推進事業
- 2 学習支援事業
- 3 教養講座

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6918番地1
 TEL 048-752-3080
 FAX 048-754-0158
 E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp



職員 館長 矢野仁史
 <管理担当>
 主幹 川口英典
 主査 篠原将典



主任 関根敦夫
 主任 松本道代
 フルタイム 石下勉
 フルタイム 三橋美穂
 <事業担当>
 課長(兼務) 隅田松千代
 主幹(兼務) 大山祐二
 主査(兼務) 城田徹
 主任(兼務) 大澤恵太(社会教育主事)
 主任(兼務) 高島美香(社会教育主事)
 フルタイム(兼務) 松江恵美子
 フルタイム(兼務) 森田明子(10月から)

(環境整備・情報提供・会議・研修・支援事業など)

No.	事業名	対象館	内容
1	公民館施設・設備の整備(主なもの) ※簡単な修繕については、各地区公民館の職員で編成する修繕班で対応している。	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修工事 ・各公民館トイレ大便器等交換修繕 ・地下駐車場・ギャラリー等照明器具交換修繕 ・内牧地区公民館及び豊春第二公民館変圧器交換修繕 ・自動ドアユニット交換修繕
		粕壁南公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンス等修繕
		内牧地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室I空調機更新修繕 ・体育室照明器具修繕
		内牧南公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランスホールタイル修繕
		豊春地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台吊物設備修繕 ・空調機配管更新修繕
		豊春第二公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・大集会室照明器具交換修繕
		武里地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・1階事務室等照明交換修繕 ・自家用電気工作物 高圧真空遮断器等交換修繕
		武里東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・2階講習室空調修繕
		幸松地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2Fトイレ及び廊下他照明器具修繕 ・玄関鋼製庇劣化部修繕
		幸松第二公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・調理室空調機修繕
		豊野地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水修繕 ・PAS交換修繕
		藤塚公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・2階調理実習室空調機交換修繕
		武里南地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・2階和室畳表替え交換修繕

	武里大枝公民館	・1階ロビー・廊下照明・2階共用部照明器具交換修繕
	庄和市民センター (正風館)	・冷温水ポンプ修繕 ・大ホール非常用照明器具・大ホール吹抜高天井及び第1.2駐車場照明器具交換
	庄和南公民館	・エントランスホール・多目的ホール照明器具交換修繕

No.	事業名	内容
2	公民館学習情報提供事業	地区公民館と中央公民館、また、地区公民館同士の連携調整を図り、公民館だより、月間事業予定、利用サークル、講師人材情報、教材・機材情報などの各種学習情報提供を効果的に行う。
3	公民館関係団体支援	学習相談、団体運営相談・指導・援助、各種情報提供、団体間交流促進など。
4	公民館関係資料調査及び収集	学習情報の提供に資するための、各種資料の収集・整理を行う。社会教育課及び視聴覚センターと連携。
5	ホームページ等の作成	教育委員会ホームページ上でのブログの作成、春日部市ホームページ上の情報の更新など

No.	事業名	発行日	発行部数	名称	内容
6	各種公民館関係資料の作成・発行	7/1	120部	令和4年度 春日部市の公民館 (令和4年度事業計画・ 令和3年度事業のまとめ)	事業計画・事業報告・利用状況など
		6/1	2部 ×16館	令和4年度 春日部市公民館利用団体一覧	活動内容・公民館別 閲覧用・職員 内部資料用
		平成7年度	2000部	春日部市民戦争体験記「語り継ぐ平和への想い」の頒布	中央公民館 で8冊頒布

No.	事業名	期日	回数	対象・人員	内容(テーマ)	特記
7	新任職員研修会	4/14 4/15	2	新任職員	公民館について・公共施設予約システムについて・予算執行について	
8	公民館長会議	月1回	12	公民館長	公民館運営に関する情報交換、研究協議、連絡調整	

9	公民館職員会議	月1回	1 2	関係職員	情報交換・実務研修 ・貸館基準、著作権 ・実践事例報告 ・情報の共有化 ・公民館合同フェスティバル企画 など	運営委員会 設置
10	各種プロジェクト	随時		担当職員	・公民館検討委員会 ・公民館合同フェスティバルの検討	検討委員会委員 職員会議プロジェクト企画担当
11	修繕班	随時		担当職員	各公民館の軽易な 修繕作業	

事業名 テーマ	サークル体験月間	対象	一般	定員	特になし	
ねらい	中央公民館のサークル活動の促進と利用の活発化を目指す。					
協力機関 及び団体	事業にご協力いただけるサークル	特色 位置づけ	サークル との連携	SDGsの 目標No	4. 11	
会場	中央公民館 粕壁南公民館	教材等 資料等	教材等は、サークルで準備			
実施までの経過	4月1日（金）公民館だより4月号 4月2日（土）サークル申込み開始 5月15日（日）サークル申込み終了 6月1日（火）公民館だより6月号	PR方法	公民館だより4・6月号 ポスター・チラシ			
		受付方法	直接サークル活動の会場へ			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職 名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
6月7日（火）	14:00～15:00	各サークル活動の体験 （～7月10日（日）まで） 活動報告会 	体験 会議	21サークル参加 41人参加		各サークルの皆さん 各サークルの皆さん 
7月20日（土）				1	1	
約一か月間					43	
企画運営 上の工夫	<p>今年度からサークル体験月間参加団体のうち、作品展示が出来る団体に声掛けし「サークル体験月間作品展」を開催した。</p> <p>窓口でのやり取りから、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、サークルを退会する方が増加していることが伺える。一方で、「新しい活動をしたいが、既存のメンバーのなかに加わるのは不安」という声や「まずは活動を見てみたい」との声が多々ある。そのため、公式にサークル体験のできる機会を設けることで、双方をマッチングさせることを目的とする。併せて、公民館と各サークルの連携を図るきっかけとする。なお、当日の運営等については、各サークルに全面的な協力をいただく。</p> <p>中央公民館の主な施策として「クラブ・サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る」とあり、この施策に則る。</p>					
成果 参加者の 声など	<p>コロナ禍での体験月間であった為、参加者数はさほど多くなかったものの、サークル体験に参加した方のうち、およそ2分の1弱の方が新たにサークルに入会した。</p> <p>サークルに参加したい方のためであることはもちろん、公民館職員と各サークルが関わりを持てる貴重な機会でもあるため、毎年、実施期間を設け、継続して実施していきたい。</p>					
課題と展望	<p>報告会に参加いただけたサークル数は少なかったが、サークルへの新規会員の加入を喜ぶ声や、公民館主催事業等への協力的な意見も伺うことができた。公民館は利用者（サークル等）あってこそその施設であるため、貸館等のやりとりにおいても単なる窓口対応だけで終わらせず、各サークルとのつながりを念頭に置いて業務を行うよう、すべての職員が意識すべきところである。</p>					

事業名 テーマ	音響操作セミナー		対象	青少年～成人	定員	10人	
ねらい	中央公民館の機材を使い、音響操作を行うことで、参加者に音響の知識を深めてもらうとともに、操作を体験することで、参加者が自主的に音響操作を行ってみたいと関心を持ってもらうことを目的としている。また、今後の公民館主催事業などで、ボランティアとして、音響操作の協力を仰ぐことも目的としている。						
協力機関 及び団体	PAサークルプラグド	特色		SDGsの 目標No	4・12		
会場	中央公民館 講堂	教材 資料等	中央公民館 音響機器 講師作成 資料				
実施ま での 経過	4～5月 講師折衝	PR方法	公民館だより4月号、広報かすか べ6月号、ポスター				
	4月1日(金) 公民館だより4月号発行		6月1日(水) から直接または電 話で中央公民館に申し込み				
	6月1日(水) 広報かすかべ発行	受付方法	6月1日(水) から直接または電 話で中央公民館に申し込み				
	6月1日(水) 受付開始						
	6月10日(金) 前日準備						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数		合計	合計			
6月11日(土)	9:00～17:00	1日目 音響機器について(講義) 音響機器について(実技) 音響機器のセッティング	講義 実技 実技	3	7	10	PAサークルプラグド 代表 中村 純子
6月12日(日)	9:00～17:00	2日目 音響機器のセッティング リハーサル デモ演奏オペレート 片付け 反省会	実技 実技 実技 実技	3	6	9	
2日間	16時間00分			6	13	19	
企画運営上 の工夫	多種多様な機能を持つ中央公民館の音響機材に積極的に触れてもらうことで、機器操作の楽しみが出てくるような、講義の進行を工夫する。 今後、中央公民館講堂の機器操作ボランティアとして活動していただけるよう、意識づけの配慮をする。 講座内容の充実を図るため、本年度は昨年度に続き、ライブフェスタと別開催とする。そのため、受講生にはライブフェスタへのボランティア参加を案内する。						
成 果 参加者の 声 など	参加者の声 ・実際にバンドのセッティングを体験し音響機器の操作を学ぶことができた。 ・エコーを使うときの設定方法などを知ることができてよかった。日頃の活動に生かすことができるいい機会となった。 ・ミキサーに書かれている用語などを理解することができた ・音源から音を出すまでの音声信号の流れを知ることができた。また、コードを固定すること、楽器によってマイクスタンドの配置を変えることなど、PAさんは演者のために細かいところまで配慮していることを知れた						
課題と展望	知識とともに、実践してこそその学習内容である。そのため、個々人が公民館を利用する、またはボランティアとしてイベントの裏方に参加する機会を持つことが重要であり、今後、参加(協力)を募るなどの働きかけが必要である。						

事業名 テーマ	第29回春日部市民県展入選作品展		対象	一般		定員	定めず	
ねらい	ギャラリースペースを活用し、市民の美術への関心と理解を高めるため、優れた作品を鑑賞する機会を提供する。市内の第70回県展入選者・入賞者等の作品を展示することで、市民の市への愛着を深め、さらに出品者相互の交流を図る機会となることも目的とする。							
協力機関 及び団体	春日部市民県展入選作品展実行委員会		特色 位置づけ	ギャラリーを使用した美術展 実行委員会による運営				
会場	中央公民館 ギャラリー		教材 資料等	作品目録				
実施までの経過	4月30日(土) 広報かすかべ7月号掲載依頼 6月1日(水) 入選入賞者調査 6月1日(水) 公民館だより6月号発行 6月4日(土) 第1回実行委員会開催 6月4日(土) 県展入選者へ出品依頼送付 6月10日(金) 案内はがき、ポスター配布開始 6月25日(土) 第2回実行委員会開催 7月1日(金) 広報かすかべ7月号発行		PR方法	広報かすかべ7月号 各地区公民館だより6月号 ポスター・案内ハガキ・ホームページ 安心・安全メール、ツイッター、ライン、 フェイスブック、市役所1階テレビモニター				
			受付方法	当日会場で直接受付 入場無料				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
			計	計	計			
7月3日(日)	13:00~17:00	搬入・展示	展示				出品者は第70回県 展入選者・入賞者 等のうち、春日部市 民の方 	
7月5日(火)	10:00~17:00	一般公開開始		54	58	112		
7月6日(水)	10:00~17:00	一般公開		78	89	167		
7月7日(木)	10:00~17:00	一般公開		47	67	114		
7月8日(金)	10:00~17:00	一般公開		60	78	138		
7月9日(土)	10:00~17:00	一般公開		75	100	175		
7月10日(日)	10:00~16:00	一般公開		81	83	164		
	16:00~17:00	搬出						
全7日間	41時間			395	475	870		
企画運営上の工夫	専門的な意見を企画に反映させるため、全6部門から13名で構成される実行委員会を組織した。今年度も、案内ハガキとポスターを配布し、市ホームページ、安心安全メール、市役所1階テレビモニター等への掲載依頼など多方面でのPRに努めた。出品作品については、県展入選・入賞の春日部市民すべてに出品を依頼し、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門 59点を一堂に展示した。また、主催者として、中央公民館からのあいさつ(県展の説明)をA3カラーで作成し、会場入り口に掲示するとともに、来場者がわかりやすいよう「作品目録」は展示順に記載した。会期中は出品者に受付当番を依頼し、来場者に作品の解説をしていただいた。また、受付当番(出品者)の名札を用意し、出品者相互の交流をより深められるようにした。来場者の増加を図るため、会期中に開催した「音楽鑑賞会」において開催アナウンスをした。なお、来場者にアンケートを実施(受付で配布)した。							
成果参加者の声など	【成果】アンケートでは、大変満足と満足がほとんどであり、多くの来場者に喜んでいただけた。また、例年、当事業の開催に合わせて行っている公民館の植栽であるラベンダーの配布など、多くの来場者に好評を得た。 【来場者の声】・普段見ることの出来ない作品を十分に楽しむことができたので美術館に行った気分です。・コロナ禍で展示会が開かれませんでしたので、久しぶりにすばらしい作品にふれ、心が癒されました。							
課題と展望	作品の壁と壁との間に椅子を置いておいてほしい、展示位置を少し上げて欲しいとの意見があったため、検討していく。また、より多くの人に来場していただけるよう今後も積極的に広報活動を行うとともに、作品展開催時の一般利用団体(サークル等)にも、会場に足を運んでもらうよう積極的に案内をしたい。							

事業名 テーマ	音楽鑑賞会 「川畑 麻衣子クラリネットリサイタル」		対象	一般		定員	175	
ねらい	質の高い芸術作品に触れる機会を提供し文化意識の向上に資する。 春日部ゆかりの演奏家を招いての演奏会とし、地元での活動推進と、郷土意識の高揚をめざす。							
協力機関 及び団体	春日部市民劇団かざぐるま		特色 位置づけ	春日部ゆかりの 音楽家による演奏		SDGsの 目標No	4・11	
会場	講堂 控室 大会議室		教材 資料等	プログラム				
実施までの経過	3月 出演者交渉 4月1日(金) 広報6月号原稿依頼締切 5月15日(日) ポスター掲示開始 6月1日(水) 広報6月号・公民館だより 6月号発行		PR方法	公民館だより 6月号 ポスター・チラシ 広報かすかべ 6月号(4/1締切)				
	6月11日(土) 整理券配布開始 7月8日(金) リハーサル・ピアノ調律 7月9日(土) 本番		受付方法	6月11日(土)から、中央公民館で 整理券(約200枚)配布 当日は整理券を持った人から先着 順に入場				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
7月9日(土)	14:00~16:00	「川畑 麻衣子クラリネット リサイタル」 	鑑賞	47	146	193	演奏者 川畑 麻衣子 (クラリネット) 鈴木 麻衣子 (ピアノ) 成谷 仁志 (ヴィオラ)	
1回	2時間			47	146	193		
企画運営上の工夫	春日部市出身の演奏者による演奏会。 地元演奏家であることを強調し、自身の生い立ちや春日部にちなんだ話を盛り込んでもらうことで、郷土意識の向上も促す。 公民館事業であることを出演者にも理解していただき、聴衆にも伝わるよう努力する。 新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行う。 照明の操作を市民団体に依頼し、紹介、及び交流を図る。							
成果 参加者の声など	久しぶりに楽器の生演奏が聴けてとてもよかったです。コロナ禍で演奏会の開催が難しいかと思いますが、また機会を作ってもらえたらと思います。 強くてやさしいクラリネットの音色が聞けて良かった。ヴィオラとピアノ、クラのセッションは心がうっとりして贅沢な時間でした。音楽っていいなあと思わせる時間をありがとうございました。 中学校でクラリネットを吹いています。いろいろと参考になりました。またとても癒されました。ありがとうございました。							
課題と展望	春日部市にゆかりのある演奏者であることにこだわっているが、それを無くしてしまうと、ただの提供事業となってしまう。公民館の事業であるため、郷土色を出すことに細心した。アンケートでは引き続き春日部出身の演奏家を期待する声もあり、公民館の意図が定着しつつあるように感じている。演奏者を探すための情報収集に努めることが必要であるが、過去の演奏者に再演を依頼することも視野に入れなくてはならない。							

事業名 テーマ	年少リーダー研修会		対象	小学5・6年生		定員	20名		
ねらい	子どもたちが、様々な体験を通して、強く、たくましく生きる力をもつきっかけになり、地域で活動する青少年リーダーに育ててもらふことを目的とする。								
協力機関 及び団体	春日部市子ども会育成連絡協議会		特色 位置づけ	地域ボランティアと青少年の交流を推進 春日部市内での継続的な活動のきっかけとする		SDGs の目標No	4・11		
会場	中央公民館・各地区公民館		教材 資料等	各種体験プログラムにより異なる					
実施までの経過	6月1日 公民館だより発行		PR方法	広報かすかべ7月号					
	7月1日 広報かすかべ発行			公民館だより6月号					
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名		
				男	女	合計	氏名		
回数	総時間数				合計				
7月23日(土)	9:00~12:00	顔合わせ・レクリエーション	実習	7	15	22	春日部市子ども会育成連絡協議会		
8月17日(水)~19日(金)		宿泊研修	実習	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			国立那須甲子青少年自然の家		
9月3日(土)	9:00~12:00	館内オリエンテーリング	実習	3	11	14	協力:P・A・M・A会		
10月2日(日)	9:00~12:00	セルフサイエンス ~自分を心をのぞいて、自分で自分を科学しよう~	実習	4	7	11	宮澤 潤幸 (DAIJOUBU)		
10月23日(日)	9:00~12:00	英語と異文化に触れよう ~翻訳にチャレンジ~	実習	2	8	10	川名 広治 (司法通訳・法廷通訳)		
11月5日(土)	9:00~12:00	内牧公園ハイキング!	実習	2	4	6	春日部市子ども会育成連絡協議会		
12月4日(日)	9:00~12:00	キッズフェスティバル準備①	実習	2	7	9	社会教育実習生(文教大学)		
12月24日(土)	12:00~17:30	キッズフェスタinたけさと	実習	1	5	6	武里地区公民館職員		
1月5日(木)	14:00~17:00	キッズフェスティバル準備②	実習	2	2	4	社会教育実習生(文教大学)		
1月7日(土)	14:00~17:00	キッズフェスティバル準備③	実習	3	6	9	社会教育実習生(文教大学)		
1月8日(日)	12:00~17:00	キッズフェスティバル本番	実習	3	9	12	社会教育実習生(文教大学)		
2月4日(土)	14:00~16:00	自分の将来に思いを馳せよう	実習	0	5	5	石野 宏明 (企業支援活動家)		
3月19日(日)	14:00~16:00	年少リーダー研修会まとめ(閉講式)	実習	1	8	9	公民館職員		
11月26日(土)	13:30~16:30	庄和地区公民館まつり見学・運営補助	実習	2	2	4	庄和地区公民館職員		
1月15日(日)	9:30~12:00	豊春地区公民館文化祭見学・運営補助	実習	0	2	2	豊春地区公民館職員		
1月29日(日)	9:30~12:00	豊春第二公民館文化祭見学・運営補助	実習	0	2	2	豊春第二公民館職員		
2月12日(日)	12:00~16:00	Showaキッズびあブース運営	実習	1	6	7	庄和地区公民館職員		
16回	26時間30分				33	99	132		
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらプログラムを実施し、市内で活躍できる場を創造する。企画については協力団体と連携を図りつつ、社会教育主事等の職員を中心に検討し各回のプログラムについて決定する。かつ、昨年までの参加者(OB、OGの中高校生を含む)が引き続き市内で活動できる場を提供するとともに、中央公民館以外の各地区公民館事業への受入れを依頼し活躍の場を広げる。								
成果参加者の声など	8月の宿泊研修が実施できなかったが、今年度は専門の講師による学習講座の機会を増設した。また、内牧公園での野外レクリエーションや、キッズフェスティバルの準備・運営などを通じ、参加者間の一体感が生まれ、学校や学年の枠を越えて親交を深めることができた。								
課題と展望	例年、各地区事業に関わる機会を設けられるよう各館に呼びかけているが、今年度は多数の館の協力を得ることができた。新型コロナウイルスの影響で、福島県での宿泊研修は令和元年度を最後に実施できておらず次年度の実施が期待される。実施できない場合のプログラムを複数検討し備えておく必要がある。								

事業名 テーマ	企画展示会／科学館巡回展 「潜水調査船がみた深海生物」		対象	一般	定員	定めず	
ねらい	全国科学館連携協議会による、「巡回展」を利用した展示会。 子どもたちの夏休み期間中を利用して、地球上の生物への興味を喚起します。						
協力機関 及び団体	制作:海洋研究開発機構(JAMSTEC) 協力:全国科学館連携協議会	特色 位置づけ	ギャラリーを 使った企画展 示会	SDGsの 目標No	4・11・14		
会場	中央公民館 ギャラリー	教材 資料等					
実施まで の経過	12月15日(水) 借用依頼書送信 6月25日(土) 展示物到着 7月24日(日) 展示準備 7月26日(火) 展示会実施 7月31日(日) 展示終了・搬出 9月14日(水) 展示物返却(宅配便にて 福井県まで)	PR方法	公民館だより6月号、広報かすかべ 4月号、ポスター)				
		受付方法	当日来場者に入場票の記入を お願いする				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月26日(火)	13:00～17:00	パネル展示 「潜水調査船がみた深海生物」 	展示 鑑賞	15	17	32	
7月27日(水)	9:00～17:00			18	32	50	
7月28日(木)	9:00～17:00			16	14	30	
7月29日(金)	9:00～17:00			25	26	51	
7月30日(土)	9:00～17:00			30	32	62	
7月31日(日)	9:00～16:00			14	23	37	
1回(6日間)	43時間			118	144	262	
企画運営上 の工夫	ギャラリーを使った公民館主催の企画展。全国科学館連携協議会より提供された展示物候補より市民の関心がありそうな内容を借入れて展示。多角的な視点で科学にふれることで、関心と知識を深める。過去、宇宙に関する展示を開催してきたが、今回初めて、深海生物についての資料展示とした。会場内のライトに青いゼラチンをかぶせ、深海の音のようなBGMを流し、天井に大型水生生物のシルエット画を貼ることで、あたかも深海にいるような環境を創出した。また、JAMSTECホームページからダウンロードした動画を繰り返し上映することで、写真(静止画)だけでなく幅広い観察ができるようにした。なお、画像データを拡大プリントしたことで、展示に迫力を持たせることができた。						
成果 参加者の 声など	参加者の声 ・展示の雰囲気作りがとても良かったです。 ・ビデオに音声による解説があればより興味がわいたと思います。 ・地球温暖化・ゴミ問題など改めて考えるきっかけになりました。						
課題と展望	科学館連携協議会の巡回展を利用した展示会は今年度で7年目になる。これまでは「天文」に関する内容であったが、今回初めて、深海生物に関する展示会としたことで、新しい関心層にアプローチできたのではないかと考えている。元々、連携協には深海生物に関する展示物は少なく、深海生物について続けて展示をするのは難しい。今後も連携協が提供する展示物を借用したいが、できるだけ関心の高い内容で、質、量ともに充実した内容を選択し、展示方法にも工夫を凝らして実施していきたい。						

事業名 テーマ	かすかべライブフェスタ2022	対象	出演バンド：市内 で活動している バンド 観客：成人一般	定員	6組 171名		
ねらい	市内で活動しているバンドに、活動の成果を発表する場を提供すると共にバンドの相互交流の場を設けることにより、市民の芸術、文化活動の発展に寄与する。						
協力機関 及び団体	【音響協力】PAサークルプラグ ド、主催事業「音響操作セミナー」 参加者	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	中央公民館 講堂	教材 資料等	プログラム				
実施ま での経過	7月 1日(金) 7月24日(日) 8月 1日(月) 8月20日(土)	広報かすかべ7月号発行 出演バンド受付開始 公民館だより8月号発行 実行委員会開催 ポスター掲示開始	PR方法	広報かすかべ7月号、9月号 公民館だより8月号 ポスター			
	9月 1日(木) 9月10日(土)	広報かすかべ9月号発行 前日準備	受付方法	出演バンド：7月24日(日)から中 央公民館窓口で先着順。 観覧者：当日、受付で入場票を記入			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			合計	合計	合計	
9月11日(日)	9:00~12:00 12:30 13:00 15:30 15:30~16:00 16:00~16:10	リハーサル 開場 開演 終演 後片付け 反省会	鑑賞	83	56	139	【出演順】 夕焼けカムパニーFromB ビバ・ボサノバ THE DRINK BAR fish & chips 出演団体全員(7ヶ所)
1回	7時間45分			83	56	139	
企画運営 上の工夫	出演バンドで実行委員会を組織し、当日の進行等についての協議、前日準備への協力、当日の照明操作等を各バンドに行ってもらおうことで、バンド同士がより深く関われるようにする。 全員参加のフィナーレをしっかりと行えるよう、打ち合わせと協力依頼をする。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、①演奏本番中以外は出演者も観客もマスク着用、②入場時に検温と手指の消毒、③入場票による来場者の把握、④客席は一席ごとの空席を設ける、⑤客席最前列2列を着席不可とし、演奏者との距離を5m以上取る、⑥マイクにカバーをし、使用する度に交換することを実施した。						
成果 参加者の 声など	申込6バンドの内、2バンドからコロナ感染を理由とする出演辞退があった。準備に手間取ることもあったが、当日の進行はスムーズであった。 来場者アンケートでは、「大変良かった」が46%、「良かった」が43%であった。内容については「予想以上、期待以上でした」「年代や曲調の違いが良いバランス」「それぞれ個性があって完成されたバンドに感心しました。素晴らしかったです。来年も楽しみにしています。」「子ども連れでライブを見に来やすかったです。」「お客さんが多くて驚きました。」など、満足度の高い感想であった。 コロナ禍にライブイベントができたことに対する感謝の言葉もあった。						
課題と 展望	幅広い世代による多彩なジャンルのライブ構成となり、来場者の年代も様々。会場を飽きさせなかった。また、出演者は音楽活動を通じて世代間の交流が図れていた。 出演希望バンドが増えてきているようである。申込方法に工夫が必要である。 常連バンド同士及び公民館との交流も深まり、今後の展開に期待も持てる状況になってきている。						



中央公民館 8

事業名 テーマ	第8回 春日部市 障がい者作品展 (第6回共に生きよう！フェスティバル)		対象	成人一般	定員	設けず	
ねらい	普段交流する機会の少ない市内の障がい者同士が美術、工芸などの作品の展示、鑑賞を通じて交流することにより、市民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。						
協力機関 及び団体	共催 春日部市(障がい者支援課) 協力 県立久喜図書館・今仙技術研究所	特色 位置づけ	令和4年度障害者週間期間中の開催	SDGs の目 標No	4・10・11 ・17		
会場	中央公民館 ギャラリー	教材 資料等	作品目録				
実施までの経過	7月中旬 担当者打合せ 10月1日 広報かすかべ・公民館だより10月号(作品募集) 10月6日 作品応募受付開始 11月1日 広報かすかべ11月号(開催案内)ポスター配布開始 11月4日 作品応募締切 11月17日 参加者打ち合わせ会 11月27・29日 作品搬入 12月4・6日 作品搬出		PR方法	作品公募 公民館だより10月号 広報かすかべ10月号 市内全事業所、昨年参加の個人にDM 展示会開催 ポスター 広報かすかべ11月号			
			受付方法	出品応募(10/6～11/4) 応募用紙は各公民館、障がい者支援課で配布 受付は中央公民館、障がい者支援課で 展示会見学は直接中央公民館へ			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 合計	女 合計	合計	
11月27日(日)	13:00～17:00	作品搬入	展示 鑑賞				ヘルマンハーブ「風の音」 「虹色」・マジックショー 大塚まりな・藤間眞白・澤田宝十朗
11月29日(火)	9:00～12:00	作品搬入		36	57	93	
11月29日(火)	13:00～17:00	一般公開		14	21	35	
11月30日(水)	9:00～17:00	一般公開		59	75	134	
12月1日(木)	9:00～17:00	一般公開		80	130	210	
12月2日(金)	9:00～17:00	一般公開		60	93	153	
12月3日(土)	9:00～17:00	一般公開		103	161	264	
12月3日(土)	14:00～15:30	「かすかべハートフルコンサート」		51	76	127	
12月4日(日)	9:00～16:00	一般公開		41	79	120	
12月4日(日)	16:00～17:00	作品搬出		9	14	23	
12月6日(火)	9:00～12:00	作品搬出					
全6日間	43時間00分			453	706	1,159	
企画運営上の工夫	例年どおり、「共に生きようフェスティバル」の展示の部として開催した。一般公募するほか、市内の障害者施設、団体及び昨年出品の個人にもDMを送って出品依頼をした。展示面積を確保するため、事前に電話で譲り合いの依頼をした。また希望する団体には会場内で手作り品の販売も可能とした。公民館の企画として、義足や、バリアフリー図書の展示も行ったほか、会場内で、障がい者でも弾くことが可能な「ヘルマン・ハーブ」の演奏を2回開催し演奏体験も行った。また、視覚障害のある二人組の「虹色」によるミニコンサート、聴覚障害のある方によるマジックショーも行った。障がい者支援課職員と、中央公民館職員で受付の分担をした。密集・密接を避ける、手指の消毒、検温、入場票の記入依頼など、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮した運営を行った。						
成果参加者の声など	29団体の参加は過去最高であった。 [参加者アンケートより]・もっとたくさんの人たちに見てほしい。持てる力を生かしている人たちをしっかりと見て、私たちも同じ感情で共に生きて行けたら私もうれしい。 ・こういう障がいのある方のイベントどんどんやってください。 ・作品を観覧していると子どもたちの一生懸命な様子が目に浮かんできます。私自身も「力」がわき出てくるような気がしてきました。すばらしいです☆ ・一つ一つの作品に思いが込められていると感じました。「みんな違ってみんないい」個性が光っているようでした。						
課題と展望	事前にスペースの確認をしたことにより、各団体ごとにはほぼ隙間なく展示することができたが、参加団体が増えてきたことにより、今後はスペースの制限が必要になるかもしれない。手作り品の販売について、展示者がいる時間以外に購入できないため、値札が付いている作品は購入できるものと誤解を招いた。物品の販売も可能であることを、展示者に事前に知らせるなど、販売についての改善取り組みが必要である。						

事業名 テーマ	キッズフェスティバル		対象	小学生まで	定員	80名	
ねらい	ものづくりの場を提供するとともに、幅広い年齢間の交流を図り、社会性や感性を育む。また、7月から実施している「年少リーダー研修会」のプログラムとして位置付け、年少リーダーメンバーを中心に、事業運営や地域活動を体験する場とし、一つの事業を作り上げる機会を提供する。併せて、公民館利用者等に協力を仰ぎ、公民館活動の成果を還元する機会とする。						
協力機関 及び団体	協力:春日部市子ども会育成連絡協議会、中央公民館利用サークルほか	特色 位置づけ	冬休み開催 年少リーダー研修会 事後研修	SDGsの目 標No	4.11		
会場	中央公民館 講堂	教材 資料等	教材は、講師・スタッフで準備				
実施ま での経 過	11月～12月 講師折衝 12月1日(水) 広報かすかべ12月号 公民館だより12月号 12月4日(日) 第1回準備 (兼 年少リーダー研修会) 12月6日(火) 参加申込み受付開始 1月5日(木) 第2回準備 (兼 年少リーダー研修会) 1月7日(土) 前日準備	PR方法	公民館だより12月号 広報かすかべ12月号				
		受付方法	電話または直接窓口にて事前申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
1月8日(日)	13:00～16:00	 <ul style="list-style-type: none"> 「遊びの広場」 ・割りばし鉄砲(射的ゲーム) ・魚釣りゲーム ・ボール落としゲーム ほか ・ニュースポーツ 「カーレットを楽しもう」 ・ランタン作り 「明るく照らして」 ・アロマを使った小物づくり ・館内オリエンテーリング 「宇宙人からのメッセージを解き明かせ」 	体験	40	65	105	年少リーダー 春日部市子ども会 育成連絡協議会 文教大学社会教育 実習生
1回	3時間			40	65	105	カーレット春日部の 皆さん 宮澤 潤幸 (DAIJOUBU) Happy aroma lifeの 皆さん 公民館職員
企画運営 上の工夫	年少リーダー研修会のプログラムの一環に位置づけ、参加者である児童、生徒が運営スタッフとして当日のブースを担当することとした。その際、複数の準備日程を設け出し物の製作時間を確保した。年少リーダーが製作した内容は「割りばし鉄砲(射的ゲーム)」、「魚釣りゲーム」、「ボール落としゲーム」の3種。過去の参加者の傾向から、未就学児を主な対象とした遊びのブースを複数設けた。また、公民館利用サークルなど協力を仰ぎ、当日の講師を依頼した。						
成 果 参 加 者 の 声 等	年少リーダー研修会開催日程のうち3日間を準備期間に充てるとともに、社会教育実習生(文教大学)の協力を得たことで、万全の態勢で事業実施を迎えることができた。年少リーダーが運営した「遊びの広場」ブースでは、積極的に来場者を呼び込む姿や未就学児、低学年児童に遊び方をレクチャーする様子が見受けられた。また、各ブース、講師の好意的な協力体制を得て盛況のうちに終了することができた。						
課題と展望	市内の複数の公民館で子ども向けのフェスティバルを開催し講評を得ている。中央公民館では講堂(体育館)内で複数のブースを設けるスタイルが浸透してきているため、ステージでの演目を新設するなど会場で一体となって楽しめる企画なども検討していきたい。年少リーダー研修会参加者の活躍の場としては、またとない良好な機会となっており、より多くの児童、生徒が企画運営に関われるよう継続していきたい。						

事業名 テーマ	中央公民館利用者協議会 陶芸窯利用者のつどい		対象	公民館利用者及び 利用予定者	定員	定めず	
ねらい	利用者同士の交流の場とし、公民館とともに公民館のよりよい運営を模索するものとする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	公民館利用サー クルの交流と意見 交換の機会とする	SDGs の目 標No	4・11		
会場	中央公民館 大会議室		教材 資料等	公民館利用のてびき 利用者会議資料 公民館へのご意見・ご要望 春日部市公民館利用団体票			
実施ま での経 過	12月 1日(木) 公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布 館内ポスター掲示		PR方法	公民館だより12月号掲載 館内にポスターを掲示 窓口でチラシを配布			
			受付方法	直接会場へ (自由参加)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月28日(土)	10:00～11:30	公民館の説明、利用協議 情報交換 陶芸窯の説明、利用協議 情報交換	協議	12	15	27	
	11:30～12:00			協議			
1回	2時間			12	15	27	
企画運営上 の工夫	開会后、すべてのサークルに自己紹介をしてもらい、参加者同士の交流のきっかけを生み出すよう工夫した。また、社会教育法にもとづく公民館の役割を踏まえたうえで、学習の成果を「地域に還元」することや様々な「事業に参画すること」などの重要性を理解してもらい、利用者同士の情報交換の時間を設けた。また、サークルに公民館事業の講師として協力いただくことをねらい、アンケートにより事業への協力可否を聴取できるようにした。 陶芸窯利用者については、利用方法を改めて周知するとともに、利用者同士で使い方の情報交換等を行い、職員とともに倉庫の確認等を行った。						
成果 参加者の 声など	単なる利用方法や予約手続き方法の説明のみではなく、利用者と職員の関係性を構築できるよう自己紹介や、公民館の役割に関する説明、主催事業への協力等についてお願いする時間に重点を置いた。自己紹介のなかで、「サークル体験月間」に参加したことにより新規メンバーが加入したとの発言が多数あった。今後も、公民館としてできる限りの支援を継続し、各サークルが良好な運営を継続できるように努めていく。						
課題と展望	公民館を使うだけでなく、学んだ成果を地域に還元するため、まずは利用者が充実した公民館活動を行えるよう支援をすることが不可欠である。今回、自己紹介やアンケート結果によると、発足から20年、30年と継続しているサークルが多数あることが伺えた。各サークルが深みを増し、歴史を紡いでいく過程を支援できるよう、公民館職員としての意識を持ちながら、日頃から窓口等での対応をベースに関係性を構築していきたい。						

事業名 テーマ	令和4年度 第23回 春日部市16公民館合同フェスティバル	対象	一般	定員	なし		
ねらい	公民館利用者の学習成果の発表の場を提供するとともに、市民主体の生涯学習を一層推進し、また地域文化の向上を目指して開催する。市内公民館利用者が中央公民館に一堂に会して、活動成果の発表、活動紹介、学習機会提供の場とともに、市民相互の交流の機会を設ける。						
協力機関 及び団体	春日部市民劇団 かざぐるま PAサークル プラグド		特色 位置づけ	実行委員会形式 市内16公民館に よる共催 公民館職員会議 によるプロジェ クト企画	SDGsの 目標No	4・11	
会場	春日部市中央公民館	教材 資料等	パンフレット				
実施ま での経過	8月～1月	職員会議プロジェクト企画 担当による内容検討 公民館だより10月号 (参加団体募集記事掲載) 参加申込書配布開始 公開抽選(ステージ部門) 展示部門参加団体追加募集 第1回 実行委員会 展示部門調整会議 広報かすかべ・公民館だより2 月号、プログラム発行 第2回 実行委員会	PR方法 (予定)	公民館だより 10・2月号 パンフレット及びポスター 広報かすかべ 2月号			
	10月1日(土) 11月1日(火) 12月2日(金) 12月10日(土) 12月17日(土) 1月21日(土) 2月1日(水) 2月4日(土)		受付方法	【参加団体】 参加申込受付 11月1日(火)～11月30日(水) 【来場者】 直接来館 ※ステージ部門はブ ロック制での開催とし新型コロ ナウイルス感染拡大防止のため 「入場チケット」を用いる			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
2月28日(火)	13:00~17:00	展示部門 (2/28~3/5開催)	展示	77	115	192	【ステージ部門】 総合司会:公民館大好 き芸人 わさびちゃん 舞台照明:春日部市民 劇団 かざぐるま 舞台音響:PAサークル プラグド
3月1日(水)	10:00~16:00			73	109	182	
3月2日(木)	10:00~16:00	ステージ部門 ダンスD a y 「公民館研究大会」 ステージ部門 ミュージックD a y	発表 講演 発表	62	94	156	【公民館研究大会】 千葉大学名誉教授 長澤 成次氏
3月3日(金)	10:00~16:00			67	100	167	
3月4日(土)	10:00~17:00			326	489	815	
3月5日(日)	10:00~12:00 12:30~17:00			282	423	705	
6回	35時間30分			887	1330	2217	
企画運営 上の工夫	各地区の職員からなる「職員会議プロジェクト企画担当会議」を定期的で開催し、新型コロナウイルス対策を徹底した運営方法及びプログラムの検討を行う。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、入場者の把握や、出演団体の動線を一方通行とし密にならないよう十分に工夫する。実施に際しては、参加団体から実行委員を選出してもらい実行委員会形式とする。						
成果 参加者 の声など	【展示部門】七宝焼、革工芸、手芸、絵画など計9団体が参加した。これまで2日間のみであった展示日程を、火曜日から日曜日までの「計6日間」としたことで、多くの市民に来場いただくことができた。また、市内16公民館主催であることから、各館で作成した『公民館紹介展示』コーナーを設けた。【ステージ部門】3月4日(土)ダンスDAYではフラダンス、民踊、手話ダンスなど計15団体が出演、3月5日(日)ミュージックDAYではオカリナ、ウクレレ、吹奏楽など計10団体が出演し、日頃の公民館活動の成果を発表した。また、3月5日(日)は同時開催として「第8回 春日部市公民館研究大会」を開催し『わたしと公民館』をテーマに、基調講演と公民館利用者及び有識者によるシンポジウムを実施した。【参加者アンケートより】・コロナの中でも皆さん頑張って活動されていて素晴らしいと思いました。・開催できなかったところから、ようやくここまでこぎつけたと思う。						
課題と展望	4年振りの実施に際し計2部門での開催としたが、今回の成果、反省点を反映させ次年度以降、よりよいフェスティバルとなるよう努めていく。						

事業名 テーマ	第8回 春日部市公民館研究大会		対象	一般	定員	なし	
ねらい	公民館全体のレベルアップを期して、社会教育や公民館の利用、運営について、全市の公民館利用者が一堂に会し、情報交換をするとともに、住民自治と公民館のあるべき姿を探る。						
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ	4年ぶりの開催 公募による資料 の作成・発行 「記録」の発行		SDGsの 目標No	4・11	
会 場	中央公民館 1階講堂		教 材 資料等	春日部市公民館 「わたしと公民館」			
実施ま での経過	8月2日(火)～ 作品募集 11月1日(火) 2月1日(水) 『わたしと公民館』発行 広報かすかべ・公民館だより 発行 2月3日(金) チラシ配布		PR方法	広報かすかべ 公民館だより チラシ・ポスター			
			受付方法	当日受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
3月5日(日)	10:00～12:00	第8回春日部市公民館 研究大会 	講演 事例 発表 質疑 講評	21	36	57	講師・コーディネーター 千葉大学名誉教授 長澤成次 司会 わさびちゃん シンポジスト 黒田美重子 藤原ノリ子 安東敏子 戸谷範子・百花
1回	2時間			21	36	57	
企画運営 上の工夫	新型コロナウイルスの影響で三年間、延期となっていた事業であり、今年度も開催が危ぶまれる中、事業が実施できなかった場合でも、成果物の配布等をもって事業実施とすることができるような内容を検討した。 「わたしと公民館」の冊子、及び「記録」の発行により、当日参加できない方にも、公民館の意義や役割を事を考える機会とした。 16公民館合同フェスティバルと同時開催とする事により、広報の一本化をし、周知、参集の効果を上げる事とした。						
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> ・作文の公募では32名の方に応募いただき、作文集を発行することが出来た。 参加者の声 ・パネリストの方が様々な活動していらしてお話を伺えて良かったです。それぞれの人生と公民館の深い関わりがすごい！特に言葉の表現を掴んだ戸谷さんの話には感動しました。 ・公民館のなりたちから知る事ができて良かった。 ・公民館で実際に活動、学んでいる皆さんの声が聞けてとても良かった。このような研究大会をぜひ続けて頂きたいと思います。公民館の大切さがよくわかりました。 						
課題と展望	市民一人一人の生活や、人生にとって公民館がどのようなかわりを持つことが出来たのか、検証する上で、作文集の発行は良い資料とすることが出来た。 本事業は平成30年に18年振りに再開できた事業で、その後3年間、延期となっていた事情もあって、市民の認知度は低く、初めて参加する方がほとんどであった。公民館の運営や在り方を考える上で、その役割を再認識する事は極めて重要なことであるので、公民館利用者を中心として、多くの市民に参加して欲しい事業である。今回は16公民館合同フェスティバルとの同時開催として、認知度を高めたが、今後も魅力のある事業内容とするなどして、継続して行う必要性を感じている。						

事業名	企画展示会 災害報道写真展 同時開催-土からわかる防災のおはなし-	対象	一般	定員	なし		
ねらい	東日本大震災の日に合わせて、春日部市での災害対策の意識を醸成する。多発する自然災害への理解を深め、防災意識の高揚を図る。また、防災対策課の取り組み内容を広く周知する機会とする。						
協力機関及び団体	協力 朝日新聞社 全国科学館連携協議会 春日部市防災対策課	特色	位置づけ	SDGsの目標No	4・11・13		
会場	中央公民館 2階 ギャラリー	教材資料等	朝日新聞社提供(A3 40枚) 令和元年豪雨・台風被害報道写真 平成30年夏 自然災害報道写真 全国科学館連携協議会提供 土からわかる防災のおはなし				
実施までの経過	11月中 関係各所と打ち合わせ	PR方法	広報かすかべ3月号 公民館だより2月号 ポスター(公共施設等)				
	1月中 ポスター作成、掲示						
	3月3日(金) パネル等借用	PR方法	広報かすかべ3月号 公民館だより2月号 ポスター(公共施設等)				
	3月5日(日) 展示・準備						
	及び7日(火)	PR方法	広報かすかべ3月号 公民館だより2月号 ポスター(公共施設等)				
	3月7日(火) 写真展実施						
	～12日(日)	PR方法	広報かすかべ3月号 公民館だより2月号 ポスター(公共施設等)				
	3月12日(日) 搬出・片付け						
	及び14日(火)	PR方法	広報かすかべ3月号 公民館だより2月号 ポスター(公共施設等)				
	3月15日(水) パネル等返却						
		受付方法	当日会場受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名
回数	総時間数			男	女	合計	
				合計	合計	合計	氏 名
3月7日(火)	13:00～17:00	災害報道写真展 ・同時開催-土からわかる防災のおはなし-	展示鑑賞	11	3	14	市役所防災対策課職員 山本 夏聖氏(中止)
3月8日(水)	9:00～17:00			19	22	41	
3月9日(木)	9:00～17:00			16	7	23	
3月10日(金)	9:00～17:00			12	10	22	
3月11日(土)	9:00～17:00			15	9	24	
	9:00～16:00	37	25	62			
3月12日(日)	10:00～12:00	我が家の浸水診断 HUG体験	実習 実習	4組6名		中止	
	13:00～16:00						
1回(6日間)	33時間			110	76	186	
企画運営上の工夫	ギャラリー施設を使った公民館主催の企画展。時節に合わせて、市民が高い関心を持つと想定される題材を取り扱う。災害防止のためのパネルを無料で貸し出している物を利用する。写真展示会と併せて「我が家の浸水診断」や「HUG体験」等の体験学習を同時開催することで、市民の防災・減災意識高揚を図る。						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部市で発生した被害の写真も展示して欲しかった。 ・防災意識を高めることから有効。講演会も開催したらよい。 ・ニュースでほぼ知ってはいましたが改めてこのような写真を見まして“他人事ではない”と実感しています。やはり動画がインパクトがある。 ・災害の怖さを改めて知りました。家庭での防災を考えるきっかけになりました。クイズラリーはいいアイデアだと思った。展示をながめるだけではなく、途中、考える時間ができる。(以上 アンケート結果より) 						
課題と展望	参加者は消して多かったとは言えない。しかし、東日本大震災をはじめとする自然災害の実情を知り、春日部市での防災・減災の意識を高めるための働きかけは必要である。これまで、展示物を無料提供していただける物だけを借用して行ってきた。引き続き貸出先の情報収集は必要であるし、過去に行ったものの再展示、も視野に入れざるを得ないかも知れない。防災対策課との連携も模索したい。						

事業名 テーマ	講堂機器操作説明会		対象	公民館（講堂） 利用団体	定員	なし	
ねらい	中央公民館の講堂をコンサート・音楽会・講演等で利用するのに必要となる会場設営や照明・音響装置の基本操作方法を習得し、利用団体が当日円滑に舞台運営ができることを目的とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	中央公民館講堂		教材 資料等	機器説明資料			
実施ま での予 定	主に事業担当職員は講堂機器の操作方法について最低限の理解に努める。ワイヤレスマイク、有線マイクの音出しからPA卓の基本操作を理解しておく。併せて、オペレーションルームからの照明操作（シーリングライト、サスペンションライト、 Horizont ライト等）について一定の知識を有したうえで機器操作説明会での指導にあたる。		PR方法	講堂申込時に計画概要書と併せて「予定表」を配布し周知			
			受付方法	電話または直接中央公民館へ事前申し込み			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			合計	合計	合計	
5月13日（金）	9：00～12：00	第1回	講習 実技	0	0	0	公民館事業担当職員
7月9日（土）	9：00～12：00	第2回		0	2	2	
9月9日（金）	9：00～12：00	第3回		10	0	10	
11月12日（土）	9：00～12：00	第4回		11	3	14	
1月13日（金）	9：00～12：00	第5回		10	10	20	
3月11日（土）	9：00～12：00	第6回		5	2	7	
6 回	18時間			36	17	53	
企画運営上 の工夫	かつては都度、利用団体ごとに操作説明を実施していたが、平成23年度からおよそ2か月に1回程度操作説明会を実施している。いずれかの日程に利用団体が参加することで説明会の効率化を図っている。講堂の利用に際し「催物概要書」の配布にあわせて説明会の日程を示し、操作に不安がある団体は参加するよう呼びかける。また、都合をつけやすいよう金、土曜日に開催日を設定する。なお、中央公民館の新任職員は、機器操作の理解度を平準化するため新任職員を中心にOJTの一環として参加を促す。						
成果 参加者の 声など	「実際に音響や照明機器を触ってみて、わかりやすかった。」「説明会から実際に使用するまでに間があり忘れてしまう。」などの声があったが、多くの利用団体が会場設営や照明、音響装置の基本操作方法を習得したと思われる。新型コロナウイルスの影響もあり、講堂を利用するイベントの多くが開催を見合わせる状況も続き、当事業への参加者は少なかった。						
課題と展望	講堂の音響や照明を使用した経験があっても、次に使用するまでに期間が経ってしまうことで、操作方法を忘れてしまっている場合が多い。利用団体が催物を円滑に運営できるようにするためには都度、研修を受けてもらう必要がある。利用団体に対し、運営が困難な状況にあっては職員も補助をするが、当初から「頼めば職員がどうかしてくれる」という意識ではなく「自主的に催物を運営していく」という意識へ変容させるよう継続して支援していくことが望まれる。						

事業名 テーマ	「今月のお知らせ」発行		対象	公民館利用者 (来館者)		定員	
ねらい	主催事業や「講堂」、「ギャラリー」を使用した催物等の情報を掲載し、公民館利用者及び地域住民に伝達することで公民館利用を促進する。毎月のイベントを時系列に掲載できることから、『公民館だより』と並行した公民館事業等のPR手段として期待される。						
協力機関 及び団体	講堂及びギャラリー利用団体		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会場			教材 資料等				
実施までの経過			PR方法	窓口、チラシ配架スペースのほか 公民館新着情報(ブログ)に掲載			
			受付方法				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
毎月1日発行 (毎月200部程度配架)		講堂利用団体による市民一般を対象とした催物の周知 ギャラリー利用団体による市民一般を対象とした展示会等の周知 中央公民館主催事業の周知 粕壁地区公民館主催事業の周知 裏面に『公民館の役割について』連載					
12回				0	0	0	
企画運営上の工夫	『公民館だより』や個別のチラシ、ポスター等のほかに、一枚で広く公民館事業の周知ができる媒体として、毎月発行することとした。併せて裏面の空きスペースを活用し、公民館の役割や、主催事業の告知、実施報告などを掲載する。						
成果参加者の声など	試験的に毎月、『今月のお知らせ』を発行するようになってから数年間しか経過していないが、月末になると、翌月号の配架についての問合せが多数あるほか、毎月の発行を楽しみしているとの声もあるほどに浸透してきている。また、令和4年度は主に社会教育主事有資格者が作成を担当し、裏面『公民館の役割』の連載を通じ、資質を發揮する機会の一環とした。						
課題と展望	今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、わかりやすい魅力ある紙面づくりに努める。また、紙面の状況に応じ、サークルや地域情報を掲載する等して、裏面に掲載するなど、発展的な活用について検討していきたい。						

